



## 京浜港湾事務所

**工事名** 横浜港南本牧地区コンテナヤード整備工事  
**工期** 平成30年11月 7日 ~ 令和元年10月31日  
**施工会社** 若築建設株式会社 横浜支店  
**工事内容** MC4のコンテナヤードを整備するため、土工や舗装工、排水構造物工、配電線設備工等を施工します。

### ●本工事の施工記録



中仕切り護岸撤去  
平成31年 3月



地盤改良  
令和元年 6月



クレーンレール基礎 鉄筋組立  
令和元年 8月

### ●進捗状況・お知らせ

6月～7月は、降雨の影響で工事が難航しましたが、先行して地中に埋設される排水構造物工および配電線設備工を施工し、施工完了部から舗装工（路盤工、PPC版設置工）の施工を進めました。

梅雨が長引くなか、7月中にコンテナヤード部の路盤およびPPC版設置は完了し、8月から本格的にアスファルト舗装を進めています。

また、工事全体の進捗に合わせて、7月からクレーンレール基礎の築造にも着手し、8月にて施工完了しました。9月からは、残されたコンテナヤード部以外の舗装工（路盤工、アスファルト舗装工）を主に施工します。



## 横浜港南本牧ふ頭地区国際海上コンテナターミナル整備事業



	年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
MC4	岸壁(水深18m)(耐震)									
	荷捌き地									■ 本工事
	航路・泊地、泊地(水深18m)									
	荷役機械・上屋等(事業区分:貸付)									



横浜市港湾局提供

横浜港南本牧地区コンテナヤード整備工事



本船からの荷卸しの荷役エリア(エプロン)に、アスファルトを舗設しています。



大きなコンテナを運ぶクレーンが走行する場所に、クローラークレーンで強固なPPC版を設置しています。

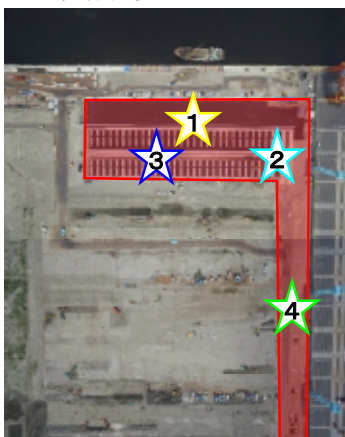


広い面積に降った雨を排水する為の排水設備(自由勾配側溝)を設置しています。



コンテナヤードに必要な多数の電線を配電する設備(ハンドホール)を設置しました。

(写真撮影箇所)



(全体)



PPC版(白色)間へのアスファルト舗装(黒色)が完了すれば、コンテナヤード整備は完了します。